

基本目標

4

—都市基盤・住環境—

便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり

基本施策

単位施策

41 計画的な都市整備の推進

411 計画的な土地利用の誘導

412 都市施設の整備

413 住環境の向上

414 生活環境の向上

42 社会資本の安定的な供給

421 インフラ資産の計画的な維持・保全

43 活力あるまちづくりを支える
公共財産の有効活用

431 公共施設の適切な財産管理

基本施策 41 計画的な都市整備の推進

基本施策の目的と方向性

- 誰もが暮らしやすい都市空間の形成を計画的に推進することで、快適で活力と賑わいにあふれるまちを目指します。



単位施策の方向性

◆単位施策 411 計画的な土地利用の誘導

- 計画的な土地利用を誘導することで、人口減少社会においてもまちの活力や生活利便の失われることのない持続可能なまちを次世代へ継承します。

指標	当初(H27年度)	現状値(R1年度)	目標値(R7年度)
市街化区域 [※] 内で都市的土地利用 [※] されている土地面積の割合	—	90.2%	91.2%

◆単位施策 412 都市施設の整備

- JR向洋駅周辺の幹線道路を整備することで、交通結節機能[※]の強化を図り、拠点地区として新たな活力や賑わいを創出します。
- 幹線道路を補完する生活道路を整備することで、密集市街地の改善や、安全な歩行者空間等を確保し、暮らしやすい都市空間を創出します。
- 子どもが安心して遊べる公園や、超高齢社会[※]に向けた世代間交流が図れる健康的なコミュニケーション空間等の創出を推進します。
- 道路や公共施設等のバリアフリー化[※]を推進し、移動空間等の質の向上を図ります。

指標	当初(H27年度)	現状値(R1年度)	目標値(R7年度)
都市計画道路 [※] の整備率	67.0%	68.5%	72.1%
幅員4m未満の町道延長割合	32.9%	32.5%	31.9%以下
公園の面積	83.6ha	83.8ha	84.0ha

本文中、[※]印のある言葉は、第4編「参考資料」の「6 用語解説」に掲載しています。

◆単位施策 413 住環境の向上

- ゆとりある住まいづくり、安心して暮らせる住まいづくり、快適に暮らせる住まいづくりを実感できる住まいづくりを実現するため、住宅施策を推進します。
- 公営住宅を適切に配置することにより、住宅困窮者^{*}の住みよい環境づくりを進めます。
- 年齢や地域に格差なく日常生活において誰もが自由に安心して「おでかけ」できる地域公共交通ネットワークを構築します。

指標	当初(H27年度)	現状値(R1年度)	目標値(R7年度)
実施計画期間中の新設住宅着工戸数(累計)	—	—	2,000戸

◆単位施策 414 生活環境の向上

- 公共下水道を整備促進し、公共用水域^{*}の水質保全と快適な生活環境の向上を図ります。

指標	当初(H27年度)	現状値(R1年度)	目標値(R7年度)
<u>公共下水道人口普及率</u> [*]	89.4%	98.1%	99.5%



本文中、^{*}印のある言葉は、第4編「参考資料」の「6 用語解説」に掲載しています。

基本施策 42

社会資本の安定的な供給

基本施策の目的と方向性

- 都市施設の計画的な維持・保全を図ります。



単位施策の方向性

◆単位施策 421 インフラ資産の計画的な維持・保全

- 道路、橋りょう、公園、河川等の計画的な維持・保全、延命化を図ります。

指標	当初(H27年度)	現状値(R1年度)	目標値(R7年度)
実施計画期間中の修繕実施 橋りょう数(累計)	—	—	12橋
実施計画期間中の修繕実施 道路延長(累計)	—	—	4,000m



基本施策 43 活力あるまちづくりを支える公共財産の有効活用

基本施策の目的と方向性

- まちの活力や賑わいを支えるために、公共施設の施設カルテを作成し、建築物の劣化度を把握することで、計画的な維持・保全を図ります。



単位施策の方向性

◆ 単位施策 431 公共施設の適切な財産管理

- 公共施設の定期的な点検を実施するとともに、適切な維持・保全を行い、住民サービスの向上を図ります。
- 公共施設の有効な活用方法を研究・検討し、その可能性を探求します。

指標	当初(H27年度)	現状値(R1年度)	目標値(R7年度)
実施計画期間中の改修実施施設数(累計)	—	—	15施設

